

よろこそ座間の伝統行事「大凧まつり」へ

座間の大凧揚げは、江戸時代後期の文化・文政年間（1804～1830年）に“端午の節句”を祝う催しとして始まり、200年以上の歴史を持つ伝統行事です。

当初は、2間（3～4m四方）程度の大きさで、各地域の家々で個々に作って揚げていました。時代が進むにつれて凧が大きくなり、各地域の青年達が協力して作り、揚げるようになりました。

現在の大きさになったのは明治時代中頃からですが、家々が増え、電柱等が多くなるに従って掲揚の場所がなくなり、田んぼで行われるようになり、昭和40年代に全市をあげて一箇所で揚げるようになり、昭和50年頃には大凧保存会が結成され相模川グラウンドで開催するようになりました。

昭和57年には、“かながわまつり50選”に選定、平成3年には国の選択無形民俗文化財に指定され、伝統行事・伝統芸能として例年、盛大に開催されています。



令和元年の大凧揚げ（相模川グラウンド）

イベント案内

開催時間（午前10時～午後4時）

5/4

- ・ わんぱく相撲座間場所 (午前8時半受付開始)
 - ・ 大凧まつり開会式・昼花火 (午前9時開始)
 - ・ フリーマーケット (午前9時開始)
 - ・ 第721米陸軍グアム州兵軍楽隊演奏 (午前11時・午後1時予定)
 - ・ 大凧・中凧掲揚 (午前11時半～午後4時)
 - ・ ざまりん握手・撮影会 (随時)
 - ・ 座間の大凧の歴史ブース (随時)
 - ・ 友好交流都市特産品販売 (随時)
- (福島県須賀川市・秋田県大仙市)

5/5

- ・ お仕事ぐるま展示 (午前10時～午後4時)
 - ・ 大凧・中凧掲揚 (午前11時～午後3時)
 - ・ 市内中学生凧掲揚 (午前11時予定)
 - ・ 在日米陸軍軍楽隊演奏 (午前11時・午後1時予定)
 - ・ 大凧お焚き上げ (午後3時半～)
 - ・ ざまりん握手・撮影会 (随時)
 - ・ 座間の大凧の歴史ブース (随時)
 - ・ 友好交流都市特産品販売 (随時)
- (福島県須賀川市・秋田県大仙市)



秋田県大仙市「昼花火」

友好交流都市の秋田県大仙市が、開会式終了後、煙で模様を描く昼花火を打ち上げ、華を添えます。

わんぱく相撲

大凧まつり会場中央部で開催される小学生相撲の大会。4年生以上の優勝者は座間場所の代表者として、両国国技館で開催される全国大会に出場します。(雨天時は栗原小学校体育館で開催。)



米陸軍軍楽隊演奏

グアム駐在の第721米陸軍グアム州兵軍楽隊は、昨年に続く出場。キャンプ座間駐在の在日米陸軍軍楽隊は、今年10月のバンド開演に伴い、大凧まつりへの出場は最後となります。



市内中学校生徒による凧揚げ

市内中学校6校から募集した生徒が引き手となり、三間凧を大空に掲げます。(5日のみ)



※ 大凧の掲揚は概ね1時間おきに行いますが、風向き、風速の状況により中凧等の掲揚に替えることがあります。

※ 凧の掲揚、イベントの開催は天候により中止、変更されることがあります。

会場内案内

至 厚木

相模川

至 相模原

障がい者用 トイレ トイレ

フリーマーケット
(4日のみ)

特設
ステージ

模擬店出店エリア

凧揚げ会場

(掲揚時立入禁止)

(相模原方面)

イベントスペース

{ 4日：わんぱく相撲
5日：お仕事ぐるま展示 }

座間市商店会連合会

出入口

(駐車場方面)

出入口

(掲揚時立入禁止)

出入口

大仙
出張
販売

須賀川
出張
販売

本部

【お願い】 ごみは所定のごみ箱にて分別回収しております。ご協力をお願いします。

多くの人に関わった大凧を大空へ



文字書きの様子



糸目付けの様子



まつり当日。
骨組みに紙を
貼る様子



縦横13メートルはビル
4階分に相当します。
実際にそばに近づくと、誰
もが大きさに驚きます。

大きさ 13m四方(100畳)
総重量 1,000Kg(1t)
引き手 100名
製作期間 3ヶ月

今年の凧文字は「^{こうりゅう}輝龍」

凧文字は毎年公募しており、今年
は27作品の応募がありました。

その中から選ばれた今年の凧
文字「輝龍」(こうりゅう)は、市
内在住の園里珂子さんが考案した
もので、「今年の干支である龍が、
光り輝きながら空を駆けるように、
力強く美しい様子を表したくて組
み合わせました。」とのことです。



神奈川県座間市の紹介

座間市は、神奈川県ほぼ中央、東
京都心から約40km、横浜から約20km
の場所に位置している人口約13万人
の都市です。

市の面積は17.57平方キロメートル
で、台地と低地が混在する起伏に富ん
だ地形をしています。

【交通】

市の南東に幹線道路の国道246号
線が通り、西部の相模川を渡ったとこ
ろには圏央道が通っています。
市の南北を小田急小田原線と
JR相模線が貫き、市の東側には
小田急江ノ島線、南側には
相鉄線と、周囲を鉄道に囲まれて
いるなど交通の便に恵まれて
います。

【座間のひまわり】

ひまわりの植栽は遊休農地の
荒廃地対策として始まりました。

現在、市内では夏に約55万
本という首都圏最大規模でひま
わりが咲き誇ります。



また、商店街では、ひまわりを使っ
た焼酎やひまわりクッキーも販売する
など、ひまわりによるまちづくりも進め
ています。8月には、ひまわりまつりが
盛大に開催されます。

【ざまりん】

55万本咲くひまわり畑で生まれ
たひまわりの妖精。ぽっこりお腹に
は、夢と希望の種がいっぱい詰まっ
ているので、タッチするといひこと
があるかもしれません。

【座間の水】

座間市では、市内に湧水が湧いて
いるほど、水が豊かなまちです。その
ため、座間市の水道水の約80%は地
下水を利用しています。

その地下水をそのままアルミボツル
缶に詰めた「ざまみず」は市役所を始め、
市内の約30ヶ所で発売中です。

